



# 2024年9月期第1四半期 決算説明資料

株式会社インバウンドプラットフォーム（東証グロース：5587） | 2024年2月14日

# 目次

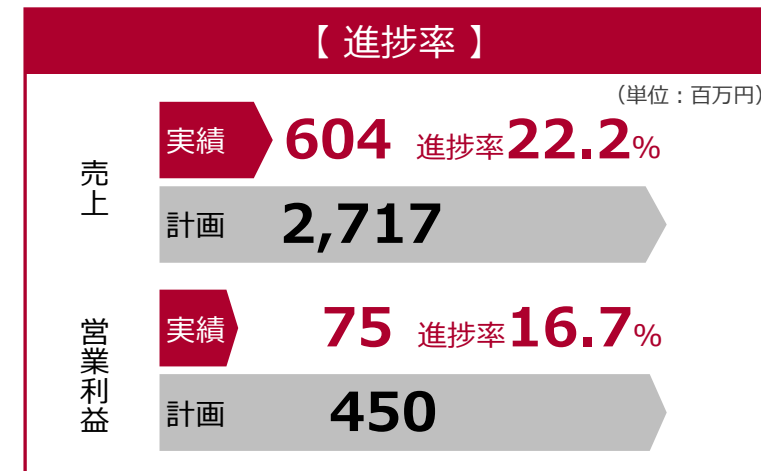
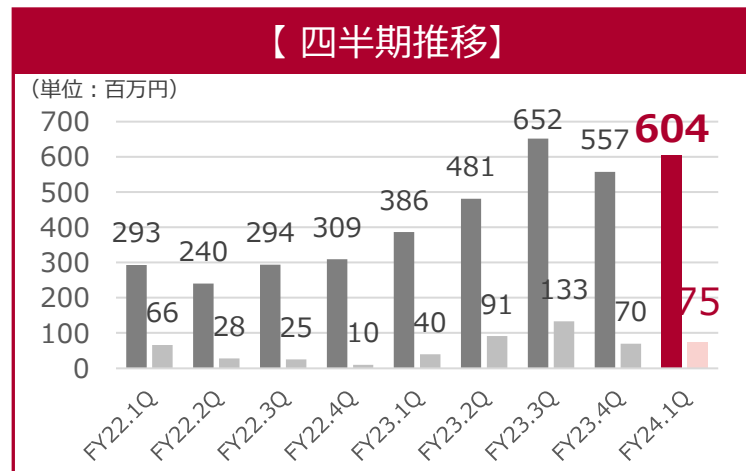
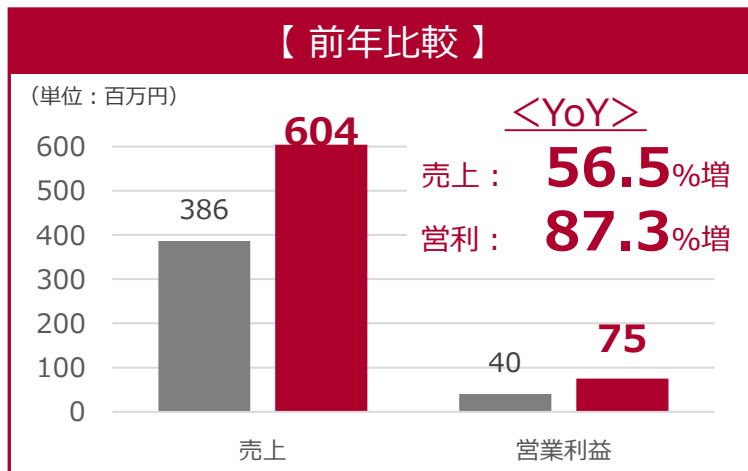
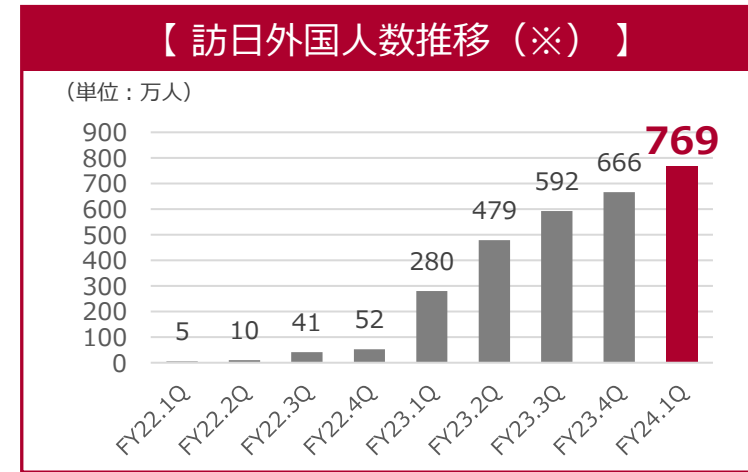
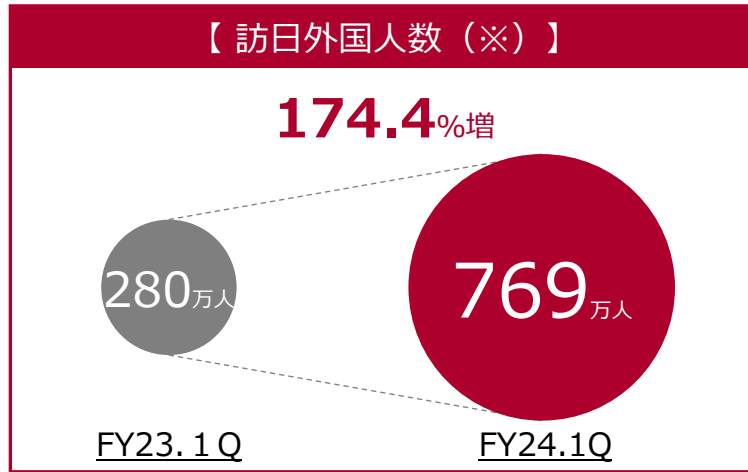
- ① FY2024.09 1Q業績ハイライト
- ② FY2024.09 1Q決算概要
- ③ FY2024.09 業績予想

【参考】 事業概要

# ① FY2024.09 1Q業績ハイライト

---

## 前期に引き続き、訪日外国人数は好調に推移 季節変動性もあり、前第4四半期より売上高・利益ともに上昇

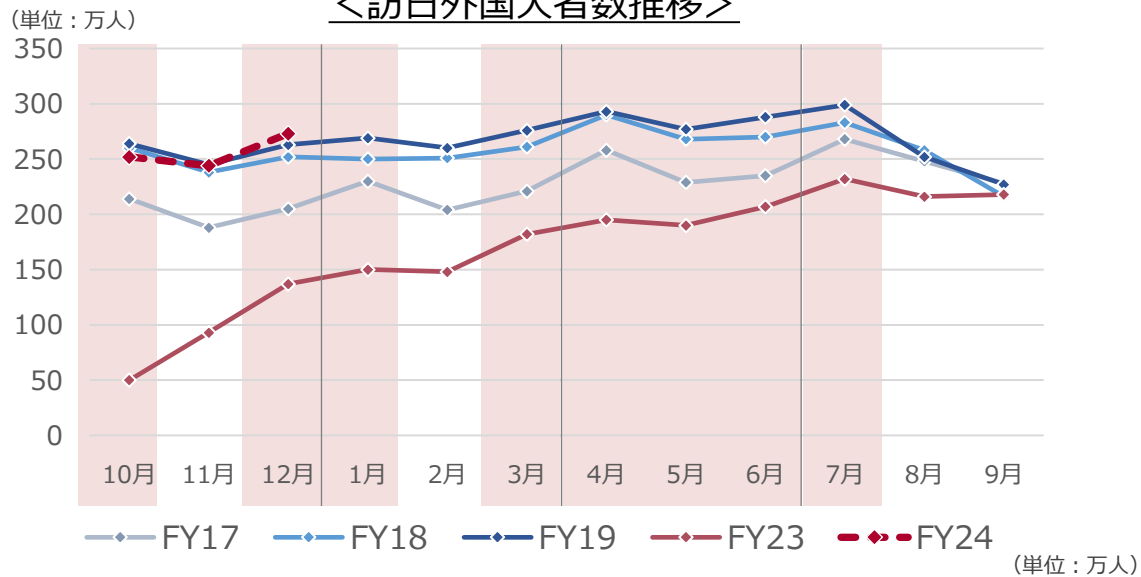


※出典：日本政府観光局（JNTO）「月別・年別統計データ（訪日外国人・出国日本人）」より当社会計期間に合わせて作成

# 【参考】当社の季節変動性について

FY24.1Qは、前期の回復期より継続して増加傾向にあり、コロナ前と同水準まで回復している傾向。  
 コロナ前は、4月のお花見・7月の夏休み前が外国人の訪日数が伸びる傾向であり、適切なタイミングでマーケットアクションを推進予定。

＜訪日外国人者数推移＞



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
FY17	213	187	205	229	203	220	257	229	234	268	247	228
FY18	259	237	252	250	250	260	290	267	270	283	257	215
FY19	264	245	263	268	260	276	292	277	288	299	252	227
FY20	249	244	252	266	108	19	0	0	0	0	0	1
FY21	2	5	5	4	0	1	1	1	0	5	2	1
FY22	2	2	1	1	1	6	13	14	12	14	16	20
FY23	49	93	137	149	147	181	194	189	207	232	215	218
FY24	251	244	273									

＜訪日外国人者数の季節変動性＞

サマリ

- コロナ前の平均通年構成比は3Q（4-6月）がおおよそ26.6%でハイシーズン
- 欧米圏からの訪日者数は、例年3Qが最大となり、2Qが最小となる傾向

1Q

10月に紅葉シーズンによる増加、11月は低下となるが12月は後半よりクリスマスバケーションによる増加

2Q

1月は各国のNewYear休暇等により増加、3月は後半よりお花見需要により増加傾向となるものの、当四半期が欧米圏からの訪日数が年間通じて最小

3Q

4-6月でお花見～初夏による増加推移。欧米圏からの訪日も通年で最大値となる傾向

4Q

例年7月が年間最大の訪日者数となる傾向。8・9月は日本の旅行環境の値上げや混雑により、欧米圏からの訪日は3Qと比較し低下傾向

出典：日本政府観光局（JNTO）「月別・年別統計データ（訪日外国人・出国日本人）」より当社作成

## ② FY2024.09 1Q決算概要

---

- FY24.1Q四半期売上高は、秋の紅葉シーズン等の影響もあり訪日外国人数も順調に推移し、コロナ回復期であった前年度と比較しYoYは218百万円（+56.5%）増加の604百万円と大きく増収。
- 同四半期営業利益は、取引拡大に連動し販売管理費は増加しているものの、訪日外国人向けWi-Fiレンタルの増加・キャンピングカー事業の伸長により、YoYで35百万円（+87.3%）増加の75百万円と、前期に引き続き堅調に推移。

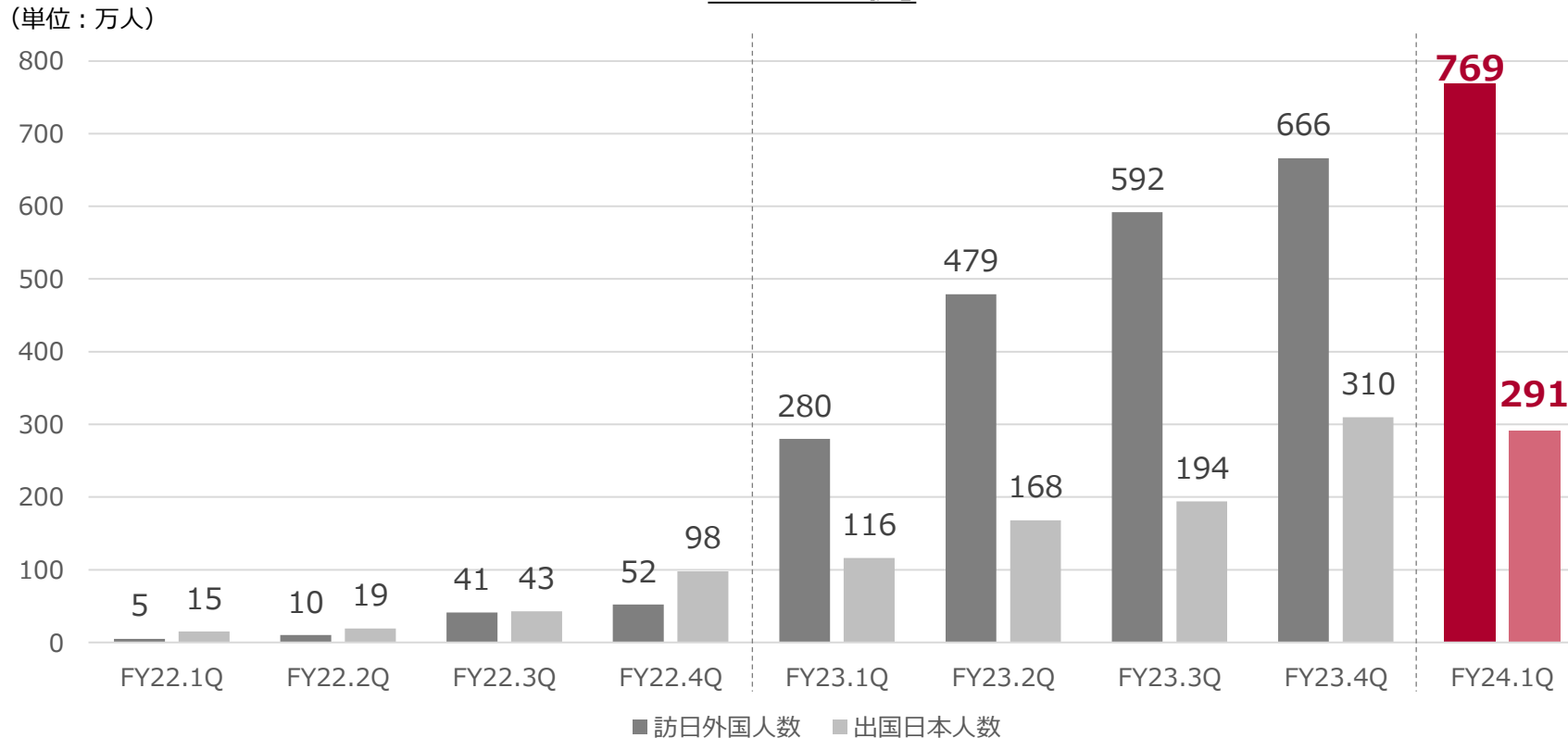
(単位：百万円)

	FY23.1Q	FY24.1Q	YoY	FY24 通期計画	進捗率
売上高	386	<b>604</b>	56.5%	2,717	22.2%
売上総利益	220	<b>346</b>	57.0%	1,703	20.3%
営業利益	40	<b>75</b>	87.3%	450	16.7%
(営業利益率)	10.4%	<b>12.5%</b>	2.1pt	16.7%	-
経常利益	40	<b>76</b>	87.8%	453	16.9%
当期純利益	28	<b>52</b>	86.0%	317	16.4%
(当期利益率)	7.3%	<b>8.6%</b>	1.3pt	11.7%	-

訪日外国人・出国日本人の推移（当社会計期間単位）

- 訪日外国人数の推移は、12月単月ではコロナ前を超える273万人と前期に引き続き増加曲線となり、QoQは103万人（+15.4%）増加の769万人。
- 一方、出国日本人数は、円安影響もありQoQ:18万人（▲6.0%）減少の291万人。

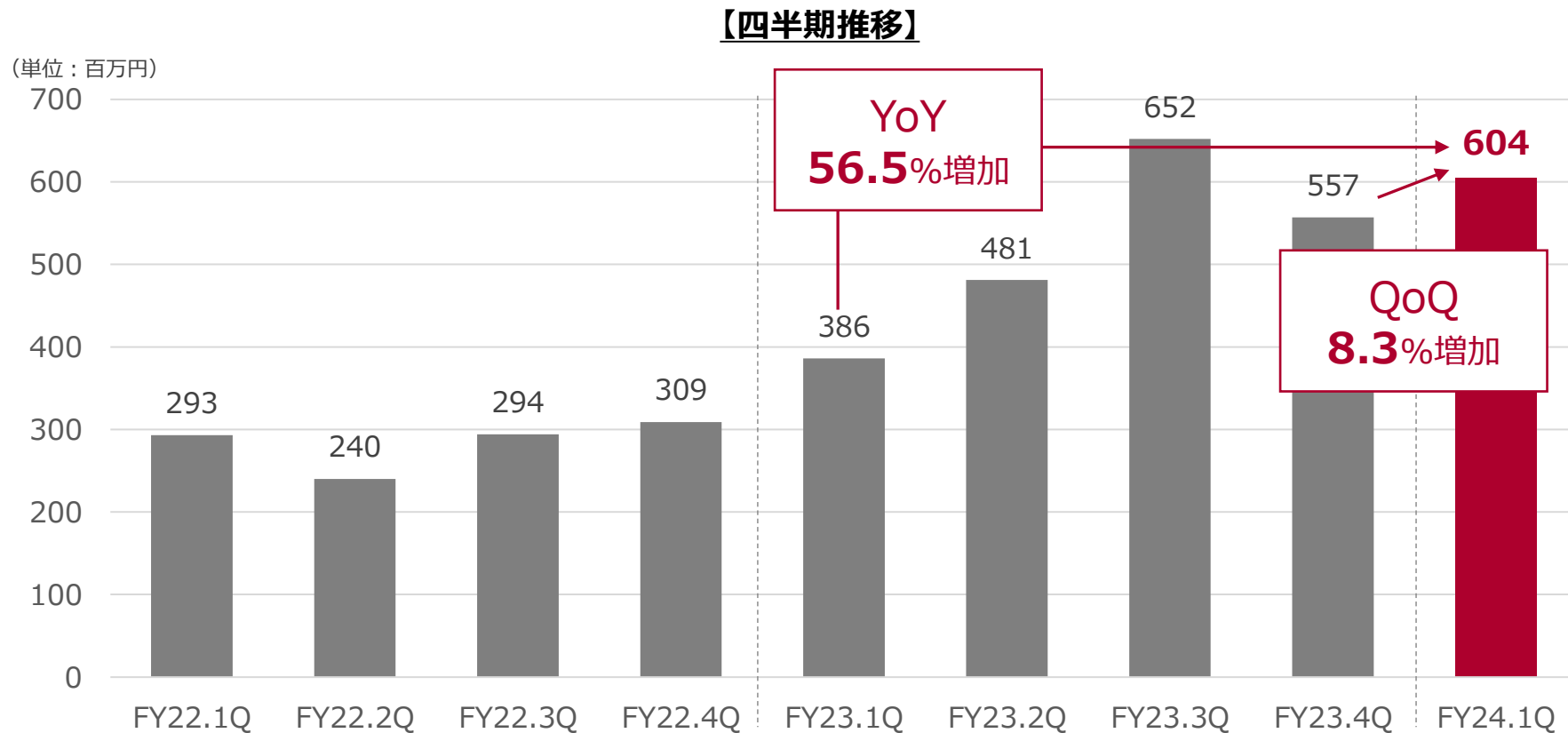
【四半期推移】



出典：日本政府観光局（JNTO）「月別・年別統計データ（訪日外国人・出国日本人）」より当社作成



- FY24.1Qの売上高は、訪日外国人者数の増加内訳が欧米圏はおよそ9万人（+7.1%）増加（※）となり、売上高は前4Qは季節要因で減少したものの、当期はQoQで8.3%上昇の604百万円で着地。
- 国内インバウンドマーケットの競争拡大により、顧客が分散化される状況となる中QoQは8.3%増加を維持。



※日本政府観光局（JNTO）より2024年1月発表の訪日外客数（推定値）より算出

# セグメント別売上高

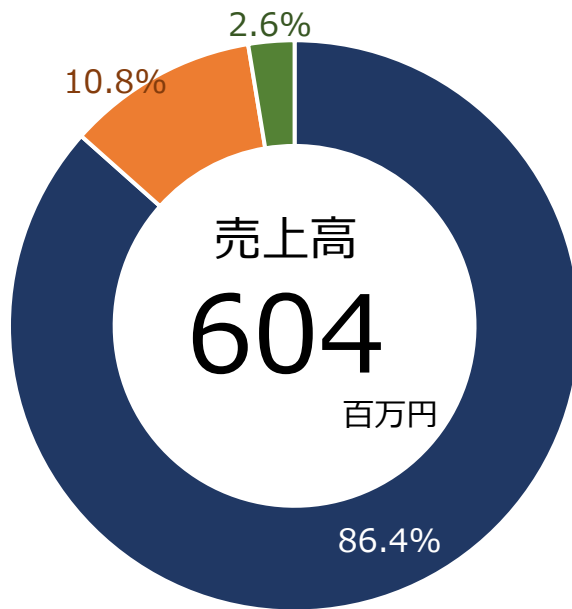
Wi-Fi事業

ライフメディアテック事業

キャンピングカー事業

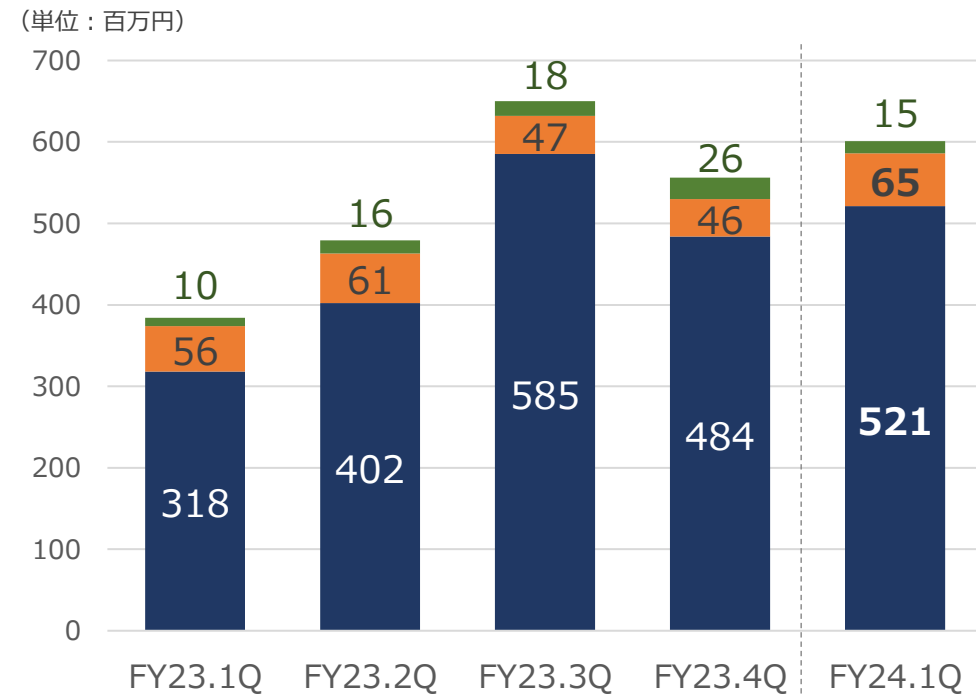
- セグメント別売上構成比は、インバウンドの好影響によりWi-Fi事業は86.4%とYoYで4.0pt増加、ライフメディアテック事業はPCR取次ぎサービスの減少などの影響もあり10.8%とYoYで3.9%低下。
- 売上推移では、ライフメディアテック事業のモバイルアクセサリ販売が好調でQoQは18百万円（+40.1%）増加。

【売上構成割合】



■ Wi-Fi ■ ライフメディアテック ■ キャンピングカー

【四半期推移】



- 1Q売上高の通期業績予想達成率は、22.2%で着地。
- 訪日・出国人数の増加要因もあり、前年同期を上回るペースで進捗。

### 2024年9月期 通期業績予想売上高 2,717百万円



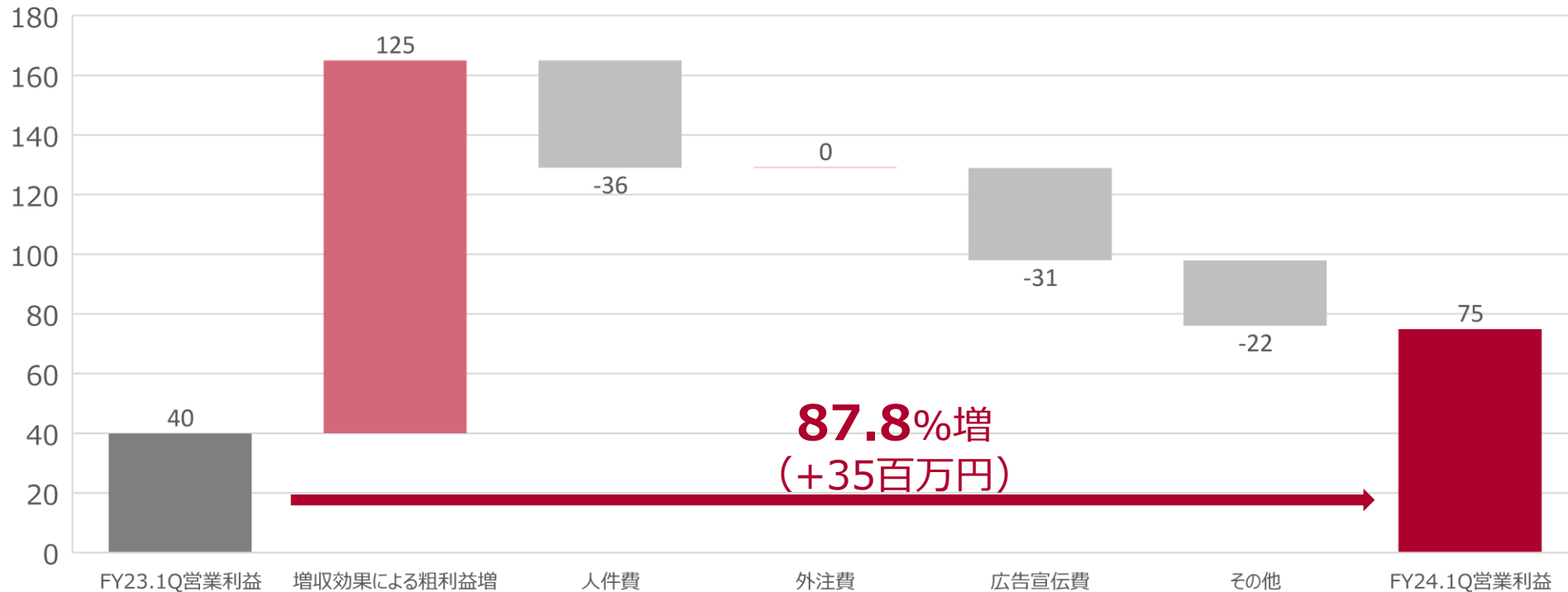
### 2023年9月期 通期売上高 2,077百万円



# 営業利益の増減（前年比較）

- FY24.1Q営業利益の増減要因は、主には粗利益の増収効果によるものが大きく、販売管理費は市況回復によるメンバー増員にかかる人件費・マーケティング活動にかかる広告宣伝費の増加が主なコスト増要因。
- 広告宣伝費はインバウンドマーケットの競争拡大に伴い31百万円増となったものの、営業利益はYoY:35百万円（87.3%）増加の75百万円で着地。

（単位：百万円）



- FY24.1Qの現金及び同等物は、未払法人税および固定負債（長期借入金）等の減少に伴いQoQ128百万円の減少。
- 自己資本比率は、負債項目の減少影響もあり、QoQで7.6pt上昇の65.2%と十分な水準を維持。

(単位：百万円)

	FY23.4Q	FY24.1Q	QoQ 増減率
流動資産	1,280	1,162	▲9.2%
現金及び同等物	1,204	1,075	▲10.6%
その他流動資産	76	86	13.3%
固定資産	540	568	5.0%
総資産	<b>1,821</b>	<b>1,730</b>	▲5.0%
流動負債	558	403	▲27.7%
借入金	61	61	0.0%
その他流動負債	496	341	▲31.2%
固定負債	214	199	▲7.0%
総負債	<b>772</b>	<b>602</b>	▲22.0%
純資産	<b>1,048</b>	<b>1,127</b>	7.5%
自己資本比率	57.6%	65.2%	7.6pt

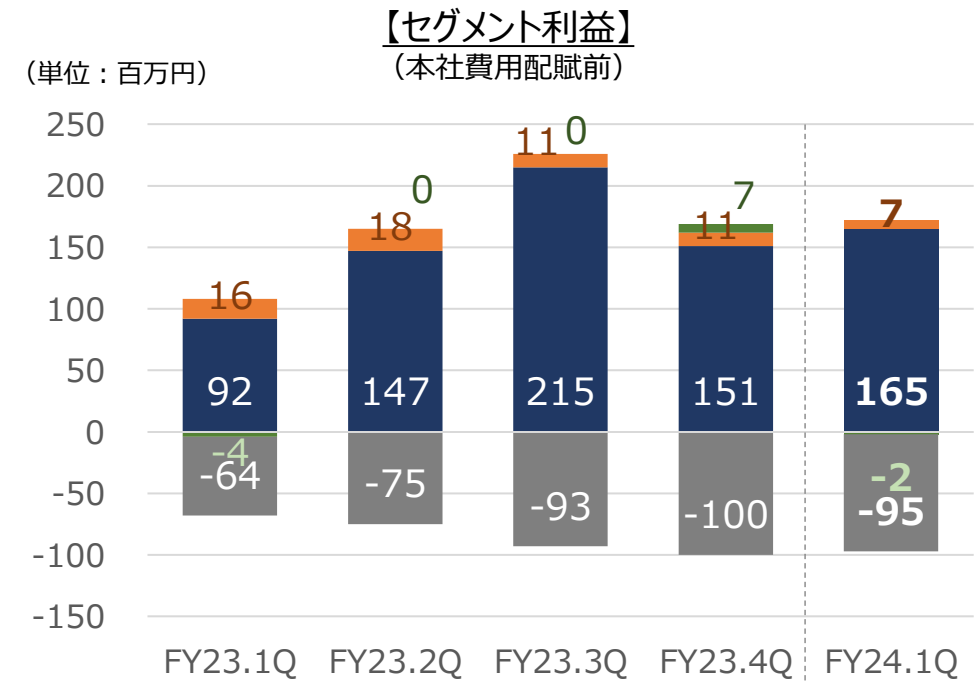
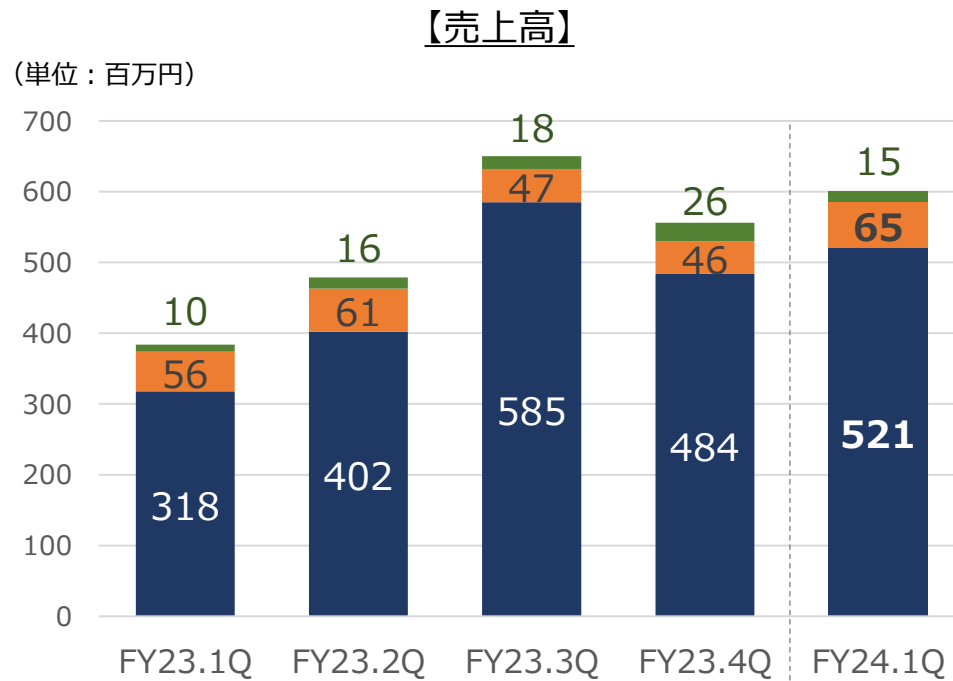
## 事業セグメント別売上高・セグメント利益

- 売上高は、QoQでWi-Fi事業7.6%、ライフメディアテック事業が40.1%増加したことが全体売上の増加要因。
- セグメント利益（本社費用配賦前）は、Wi-Fi事業の売上拡大の影響もありQoQは4百万円の増加（+6.9%）。

Wi-Fi事業

ライフメディアテック事業

キャンペーンカード事業



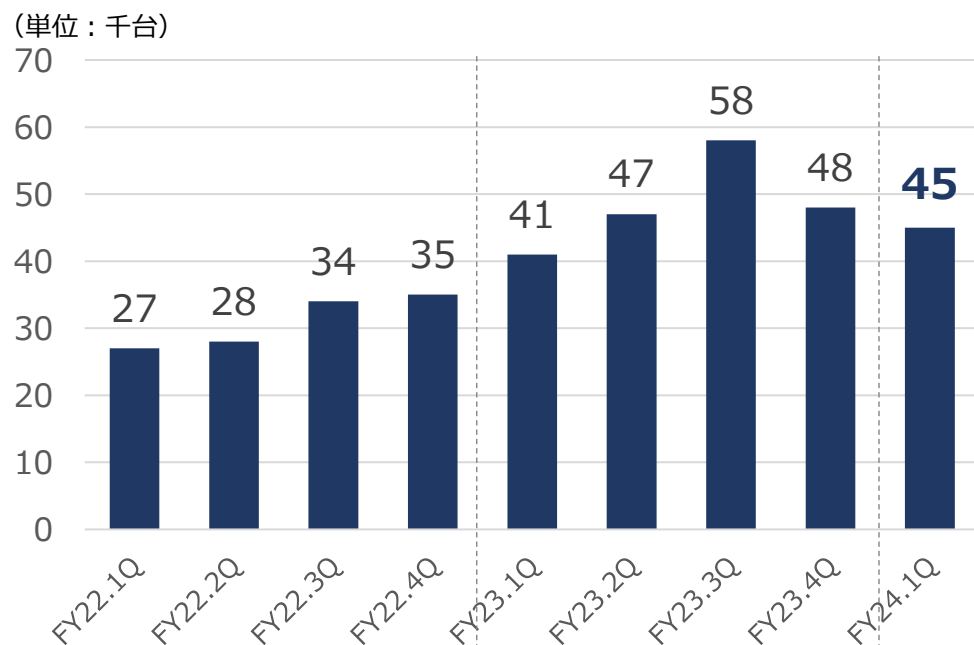
## ② FY2024.09 1Q概要 Wi-Fi事業

---

## Wi-Fi事業の状況

- Wi-Fi事業の売上高は、訪日外国人向けブランドJapanWireless（※）が好調に推移したことにより、YoYは63.9%と大幅増加、QoQは7.6%と増加着地。
- セグメントKPIである稼働端末台数は、海外旅行等の季節性によりQoQでは約3千台の減少したものの、利益率の高いJapanWirelessの伸びにより、売上・セグメント利益の増加を維持。

【稼働端末台数の推移】



【対比】

(単位：千円)

	FY23.1Q	FY24.1Q	YoY	FY23.4Q	QoQ
売上高	318,277	521,784	63.9%	484,887	7.6%
セグメント利益 (本社費用配賦前)	92,858	165,610	78.3%	151,681	9.2%
営業利益率	29.2%	31.7%	+2.5pt	31.3%	+0.5pt
セグメント利益 (本社費用配賦後)	39,822	82,924	108.2%	64,711	11.9%

※Japan Wirelessは訪日外国人向けWi-Fi端末レンタルサービスの当社サービスブランドです



## Wi-Fi事業の状況

グローバルマーケットにおける中長期的に安定した収益基盤の確立を目指し、認知度向上とリピート顧客獲得を推進しています。

### 【マーケティング対応】

- インバウンドマーケットの競争力拡大に伴い、当社の認知度向上策として提携先の増加
- SEOの維持対応
- 顧客獲得率の向上に向けたサービスサイトのローカライズ化
- 海外向けレンタルサービスの国別LPのブラッシュアップ

### 【他社協業】



2023年12月1日、近畿日本ツーリスト株式会社と業務提携を行い、当社の訪日旅行者向けWiFiレンタルサービス（JAPAN WIRELESS）を近畿日本ツーリストのお客様に対しても提供を開始

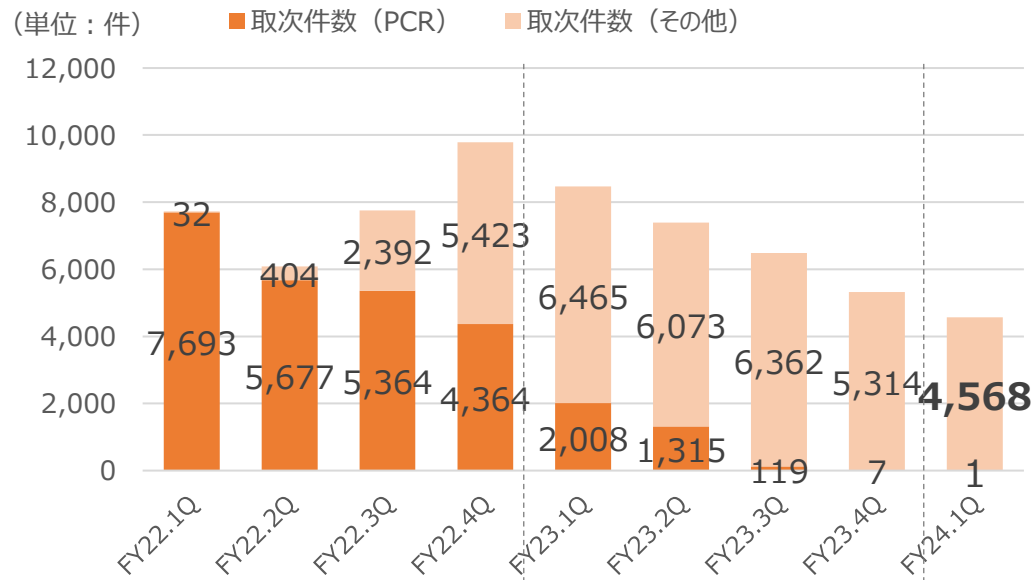
② FY2024.09 1Q概要  
ライフメディアテック事業

---

## ライフメディアテック事業の状況

- セグメントKPIである取次件数総数は、Living Japanはコロナ回復反動の落ち着き・AIRPORT TAXIは競合影響等により微減推移となり、QoQで14.1%減少。
- セグメント利益（本社費用配賦前）は、新サービス展開および開発に係る人件費・広告宣伝費・支払手数料等の増加影響により、QoQで35.4%と減少。

【取次件数の推移】



【対比】

(単位: 千円)

	FY23.1Q	FY24.1Q	YoY	FY23.4Q	QoQ
売上高	56,848	65,111	14.5%	46,475	40.1%
セグメント利益 (本社費用配賦前)	16,032	7,623	▲52.5%	11,804	▲35.4%
営業利益率	28.2%	11.7%	▲16.5pt	25.4%	▲13.7pt
セグメント利益 (本社費用配賦後)	6,559	▲2,694	▲141.1%	3,193	▲184.4%

## ライフメディアテック事業の状況

ライフメディアテックでは体制強化を図り、既存事業のサービス拡張と新たなサービス開発を推進しています。


外国人向けサービスを垂直的に立上げ、収益基盤を強化

訪日・在留外国人市場で新規サービスを拡充し、顧客獲得を目指す

### 既存事業

通信	住まい	電気・ガス
医療	移動	メディア

仕事	教育
食	冠婚葬祭
衣料	災害・防災



**通信** 2023/11

eSIMサービスの本格販売の開始



**医療** 2023/11

「マイクロCTC検査」を提供する株式会社セルクラウドの業務提携



**移動** 2024/1

JAPAN BULLET TRAIN サービスリリース

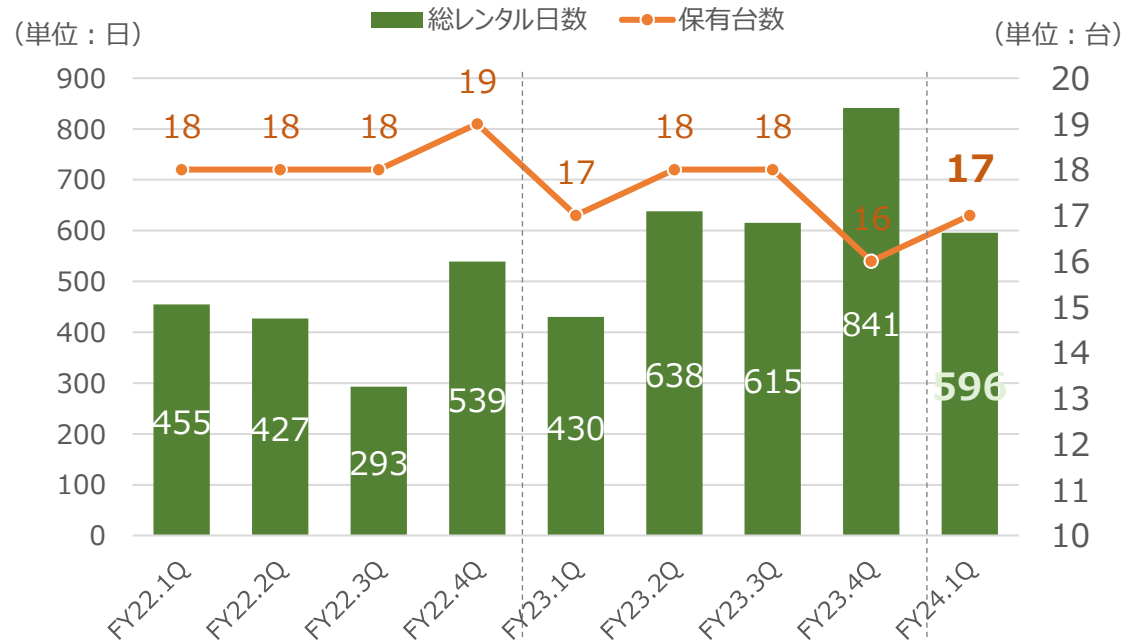
## ② FY2024.09 1Q概要 キャンピングカー事業

---

## キャンピングカー事業の状況

- セグメントKPIである総レンタル日数は、夏のキャンプ・冬のスキー等のレジャーシーズンの狭間となる閑散影響もあり、QoQで245日（29.1%）減少の596日で着地。
- セグメント利益（本社費用配賦前）は、閑散影響でQoQは▲9百万円となるもののYoYでは2百万円（46.4%増）と微増成長。

【総レンタル日数の推移】



【対比】

(単位: 千円)

	FY23.1Q	FY24.1Q	YoY	FY23.4Q	QoQ
売上高	10,310	15,954	54.7%	26,219	▲39.2%
セグメント利益 (本社費用配賦前)	▲4,449	▲2,383	46.4%	7,069	▲133.7%
営業利益率	▲43.2%	▲14.9	+28.3pt	27.0%	▲41.9pt
セグメント利益 (本社費用配賦後)	▲6,167	▲4,911	20.4%	2,536	▲293.6%

## キャンピングカー事業の状況

キャンピングカー事業は、提携企業との連携強化・サービスプロモーションを推進し、キャンピングカー需要の促進を推進しています。

### 【マーケティング対応】

- 提携先の海外キャンピングカー企業との連携し、海外顧客の獲得を強化  
(送客・受入れ)
- キャンピングカーの維持・管理サービスとして、モータープールサービスを推進し、キャンピングカー保有者の利便性を促進

### 【キャンピングカー保有推進活動】



### エルモンテ・モータープールの特徴

<p>都心から最短で35分アクセス！ 東京都心から車で約35分～45分、最寄の船橋駅までは東京駅から約35分。徒歩約5分とアクセス良好です。</p>	<p>駐車スペースは余裕のサイズ！ 幅4mと余裕のサイズです。 ・Aクラス (4m×10m) ・Bクラス (4m×8m) ・Cクラス (4m×6m)</p>	<p>洗車・充電・給水 出発準備もOK！ キャンピングカーレンタルの拠点内から、洗車・充電・給水も対応可能。出発準備もOKです。</p>
--	--	--

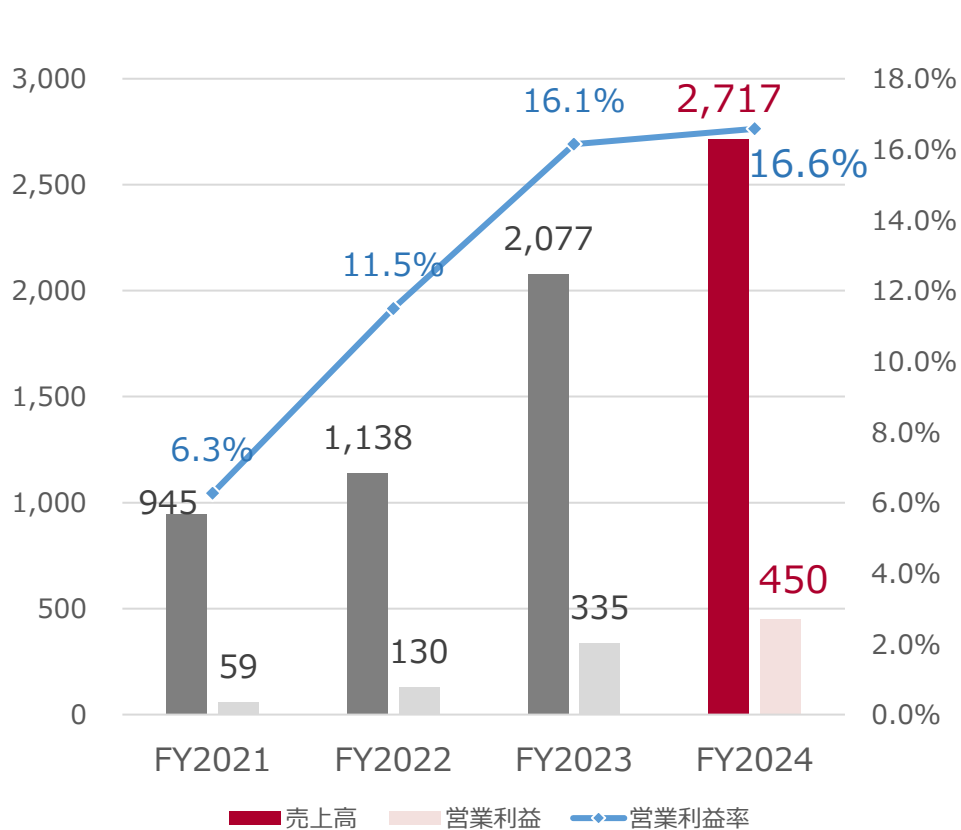
### 前期開始のモータープールサービスを促進

## ③ FY2024.09 業績予想

---



- FY2024期の通期業績予想は、前期末に発表の予想数値を据え置いております。
- 売上高は、継続的な訪日外国人数の上昇を見込み、30.8%増加の2,717百万円と予想。
- 営業利益は、売上拡大に向けたマーケティング費用及び人件費の増加を見込むものの、利益率の高いサービスの展開を見込み34.4%増加の450百万円を予想。



	FY2023		FY2024		増減額	増減率
	実績	売上高比	予想	売上高比		
売上高	2,077	-	2,717	-	640	30.8%
売上総利益	1,236	59.5%	1,703	62.7%	466	37.8%
営業利益	335	16.1%	450	16.6%	115	34.4%
経常利益	376	18.1%	453	16.7%	76	20.3%
当期純利益	252	12.1%	317	11.7%	65	25.9%

Wi-Fi事業  
ライフメディアテック事業  
キャンピングカー事業

## Q2以降の取組み

- 好調なインバウンド市場において、多くの訪日外国人および在留外国人からの認知を高め、当社のファンとなる顧客獲得をめざしたマーケティング活動を強化してまいります。
- ライフメディアテック事業では、これまでリリースした様々なサービスをブラッシュアップし顧客の増加と定着化を目指してまいります。

### 【Wi-Fi事業】

#### ●顧客獲得マーケティングの強化

##### 継続的なコミュニケーション

- DM・メルマガ・SNS等での接触頻度の増加
- リピーター特典の提供

##### カスタマーサポート体制の強化

- ナレッジ共有の仕組み化
- AI導入による効率化

##### クロスセルの強化

- 購入時やDM等での他サービスの案内

### 【ライフメディアテック事業】

#### ●既存サービスの認知拡大

通信・住まい・医療・移動など、これまでリリースしてきた多数のサービスについて、認知度を高め利用者様の拡大を目指し、マーケティング活動を強化します。

#### ●新規サービス開発

引き続き、外国人の日本滞在環境の拡充を目指し、様々なサービス開発を推進します。



移動

リリース日：2024/2  
レンタカーのDXソリューションシステムを提供する株式会社KAFLIX CLOUDとの業務提携により訪日旅行者向けレンタカー予約のDX化の推進を目指します。

### 【キャンピングカー事業】

#### ●利用環境の充実・利用者増加に向けた環境整備活動

##### 海外提携先との連携強化

- WEBサイトの魅力付け強化・利便性の向上
- 従業員の海外対応強化

##### キャンピングカー利用環境の充実推進

- キャンピングカー利用機会の創出
- オプションや安全保障の拡充
- 駐車場（モータープール）などの利用環境提供サービスの推進

# ご参考資料 事業概要

---

A photograph of three women walking and smiling on a Japanese street. The woman on the left is wearing a purple kimono. The woman in the middle is wearing a blue and white checkered dress. The woman on the right is wearing a white top and a patterned bag. The background shows a street with shops and signs.

また来たい、日本

Make people from all over the world *Love This Country.*

外国人の日本における課題・不便を解決し、  
中長期的に成長する訪日及び在留外国人市場を牽引する業界のリーダーを目指します。

## 事業セグメント

訪日外国人 / 在留外国人 / 日本人 / 法人 を顧客対象として  
3つの事業複数のサービスを展開しています

### Wi-Fi事業

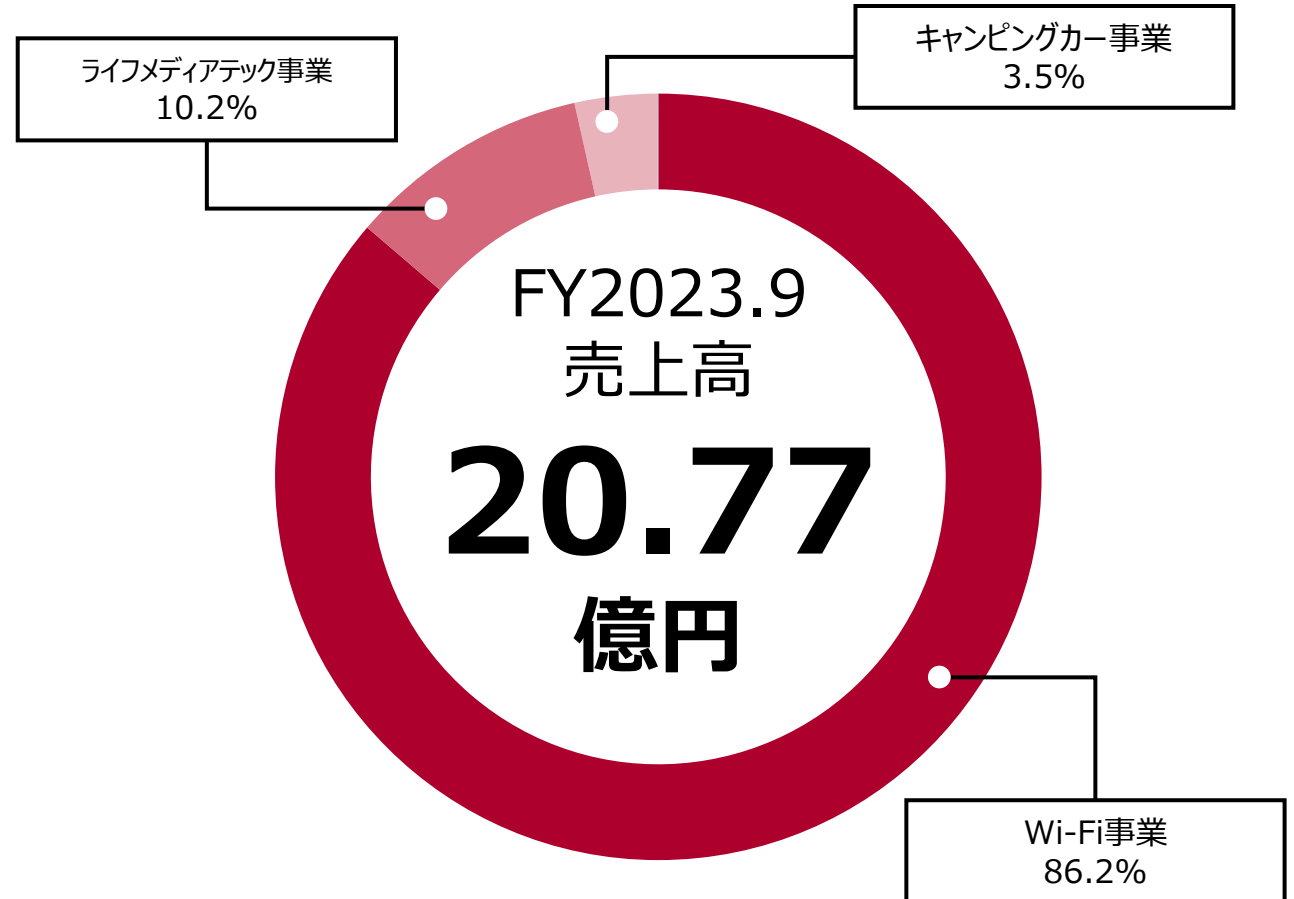
快適なインターネット環境の実現を目指し、  
顧客の利用用途に合わせたWi-Fiレンタルを提供する通信事業

### ライフメディアテック事業

「通信」「住まい」「医療・ヘルスケア」「移動」を  
はじめとする訪日・在留外国人向けの統合ライフサービス事業

### キャンピングカー事業

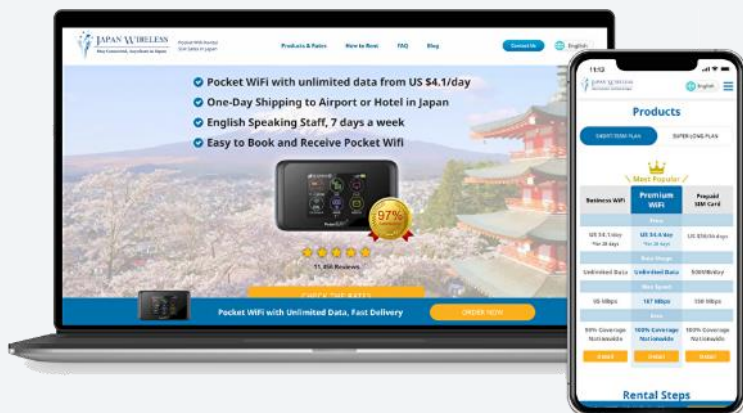
米国キャンピングカーレンタル大手であるEl Monte RVの  
正規代理店としてレンタルを行なうキャンピングカー事業



# Wi-Fi事業

## 国内・海外・訪日領域で事業展開。安心・安全・快適なインターネット環境を世界中に提供

お客様の利用用途に合わせたお得なWi-Fiレンタルサービスを提供しています。長年の販売実績をもとに、競争力のある価格で通信回線をキャリアから安定的に仕入れています。オペレーション面では、大量のWi-Fi端末をスピーディーに充電・梱包のうえ、顧客へ発送する体制が整っています。



訪日外国人向け Wi-Fi レンタル「Japan Wireless」

## Global Mobile



国内法人及び日本人向け Wi-Fi レンタル「Global Mobile」

累計レンタル実績80万台突破。高品質の通信キャリア回線を**通信データ無制限**で提供

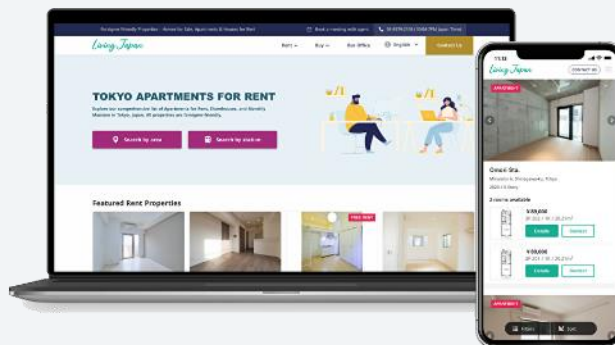
# ライフメディアテック事業

## 在留外国人の生活をサポートする統合ライフサポートサービスを提供

日本で生活する上で必要なサービスは、問合せ先や各種手続きが煩雑であり、日本語が難しい外国人にとって時間と手間がかかります。在留外国人の方が必要とするサービスを垂直的に立ち上げ、自社保有の多言語コールセンターを活用しながら日本での生活をサポートしています。



空港送迎サービスの取次「Airport Taxi」



不動産情報提供・賃貸仲介「Living Japan」



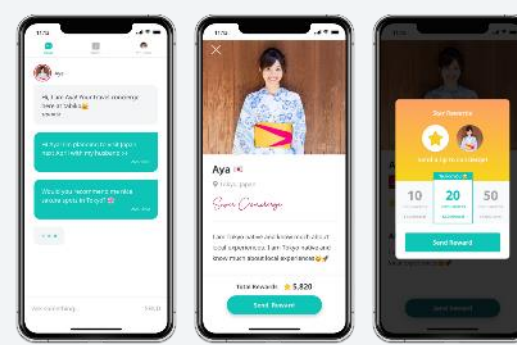
医療機関の取次「Clinic Nearme」



情報発信 Webメディア「Japan Web Magazine」



通信環境の取次「Japan Wireless Mobile」



チャットコンサルジュアプリ「Tabiko」

# キャンピングカー事業

## 米国キャンピングカーレンタル大手の代理店として、レンタルキャンピングカーサービスを提供

国内レンタルでは、18台のキャンピングカーを保有し、訪日旅行客及び日本人顧客向けにレンタルサービスを提供しています。

海外レンタルでは、米国キャンピングカーレンタル大手EL MONTE RENTS, INC.への日本人顧客の取次ぎを代理店として行っています。

### 国内レンタル（全国6拠点）



### 海外レンタル（世界4ヶ国）





## 我々の強み

長年、訪日旅行事業を営み、外国人向けのサービス提供に特化してきたことで、外国人との多くのタッチポイントと、外国人に対するカスタマーサポートノウハウを有しています

## 外国人向けサービス提供ノウハウ

- 外国人向けWeb情報メディアの運営／外国人向けチャット コンシェルジュサービス／外国人向けWi-Fiレンタルサービス／外国人向けハイヤーサービス／外国人向け医療機関案内サービスなど**様々な外国人向けのWebサービスを展開**



## 外国人との豊富なタッチポイント

- 外国人向けWeb情報メディアを自社保有：**月間150-200万PV**  
Wi-Fiユーザー：**月間 10,000～18,000組**  
送迎ハイヤーユーザー：**月間 900～ 1,300組**



## 外国人へのカスタマーサポートノウハウ

- 7言語以上対応可能なコールセンターを自社保有**
- 行政機関の外国人カスタマーサポートの受注実績**
- 自社の訪日外国人向けコンシェルジュアプリでは、**4.6 / 5の高評価のレビュー**をいただいております



ABOUT US

## 会社概要

会社名	株式会社インバウンドプラットフォーム
設立	2015年10月
所在地	東京都港区新橋六丁目14番5号
従業員数	81名（2023年9月末時点）※アルバイト含む
株式市場	東京証券取引所グロース市場（証券コード：5587）

経営陣	王 伸	代表取締役社長 / CEO
	武原 等	取締役
	古我 知史	社外取締役
	菅原 洋	社外取締役
	宇尾野 彰大	社外取締役
	宮川 竜一	監査役
	生田目 克	監査役
三神 拓也	監査役	

事業内容	訪日旅行事業 （国内・海外用のWi-Fiレンタル、Webメディア運営、在留外国人向け生活関連サービス、キャンピングカーレンタル等）
------	--



2015年10月

当社の前身となる  
(株) エルモンテRVジャパンを設立。



2016年7月

エルモンテRVジャパンの株式100%を  
(株) エアトリが取得。

キャンピングカー事業の本格的な始動。

2018年8月

(株) Destination Japanを吸収合併し、  
Wi-Fi事業部の発足。



株式会社インバウンドプラットフォームに社名変更。



2019年9月

現在の本社に移転。  
(東京都港区新橋六丁目14番5号)

2020年3月

FAST JAPAN株式会社より  
コンシェルジュアプリを事業譲受。



2020年4月

株式会社グローバルモバイルの  
株式を100%取得し子会社化。

**Global Mobile**

2020年6月

子会社の株式会社グローバルモバイルを吸  
収合併。

2021年6月

ライフメディアテック事業部の発足。

2023年8月

東京証券取引所グロース市場へ  
株式上場。





## 王 伸 / 代表取締役社長 CEO

慶応義塾大学経済学部卒業後、税理士法人トーマツ及びKPMG税理士法人にてコンサルティング事業に従事。2014年11月に株式会社エポラブルアジア（現：株式会社エアトリ）入社、経営企画室室長、執行役員、取締役COOを歴任。2018年8月当社代表取締役社長に就任。



## 武原 等 / 取締役

1993年株式会社アップルホテルズ（現：株式会社アップルワールド）取締役に就任。2014年7月同社常務執行役員に就任。2015年10月に当社を創業し、代表取締役社長に就任。2018年8月当社取締役に就任、キャンピングカー事業を牽引。



## 宮川 竜一 / 常勤監査役

東北大学法科大学院卒業後、2015年12月に弁護士登録、その後は法律事務所に勤務。2018年12月、当社常勤監査役就任。

# 数字で見るIPC

2015年10月創業より

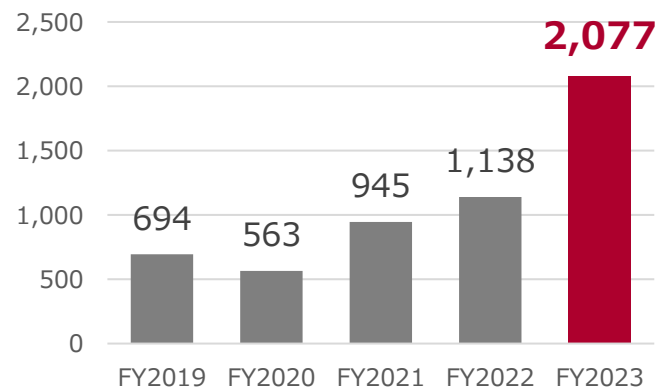
**9** 期目

従業員数  
(2023/9末時点)

**81** 人

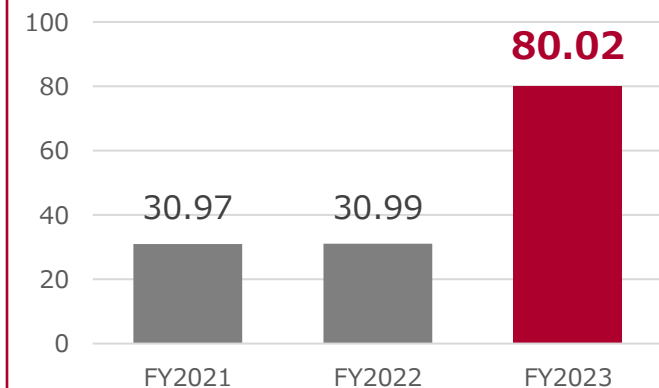
売上高

(単位：百万円)



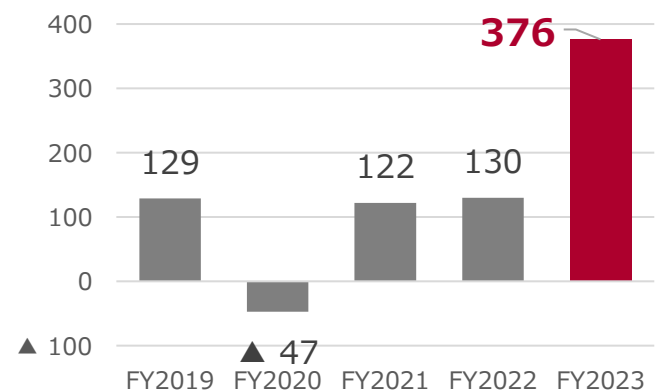
1株当たり純利益

(単位：円)



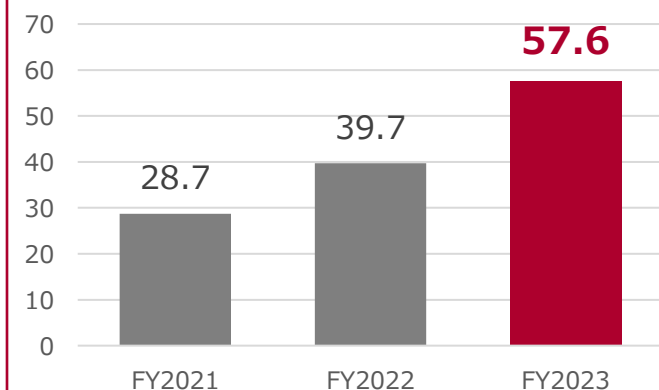
経常利益

(単位：百万円)



自己資本比率

(単位：%)



## < 将来見通しに関する注意事項 >

- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断によるものです。
- 通常予測し得ないような特別事情の発生、または通常予測し得ないような結果の発生などにより、資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。

## <お問合せ>

株式会社インバウンドプラットフォーム  
管理部 IR担当

[ir@inbound-platform.com](mailto:ir@inbound-platform.com)

[www.inbound-platform.com/ir/form/](http://www.inbound-platform.com/ir/form/)



**Make people  
from all over the world  
Love This Country**